

数 学 科

第1項 はじめに

本校の生徒の大多数は4年生大学への進学を希望しています。数学科では、学校の授業に真剣に取り組み、家庭学習を継続的に行えば、「大学入学共通テスト」に対応できるように計画をたてています。さらに、理系選択生徒に対しては、3学年の2学期の中間考査までに高校の内容をすべて終了できるように授業を進めていきます。

また、様々な生徒にも対応できるように、2学年の数学Ⅱにおいて習熟度別授業を実施しています。

各学年での学習目標は下記の通りです。

- 1学年 … 予習復習を中心に、毎日机に向かう習慣をつける。問題演習を十分に行い、高校数学の基礎力を養う。数学的な考え方を身につける。
- 2学年 … 引き続き予習復習を中心に行い、さらに問題集・参考書等を用いた演習にも取り組む。1年次の内容を振り返りながら、さらに応用力を身につける。進路を踏まえた内容も習熟度別の授業を活用し、習得する。
- 3学年 … 進路に合わせた高度な学習内容を学ぶとともに、各自、進路実現に向けて「自学自習」の態度や習慣を身につける。

第2項 勉強方法

○ 授業の受け方

予習を行い、学習内容を把握して授業に臨めるように心がけましょう。授業で学ぶ内容は、数学の基礎となる重要なものです。授業内容すべてを理解していくことが、大学入学に向けての第一歩となります。どのような難問も、基本事項を身につけていないと解くことができません。

○ 家庭での学習

毎日机に向かうように心がけ、授業で学んだことは家庭学習で身につけてください。

学習の順番としては

- 1 授業の予習を行う。(教科書の学習内容を把握する)
- 2 授業で説明された内容を理解しているかを確認する。(ノートを見直す、再度問題を解いてみる)
- 3 問題集を用いて現在学んでいる内容の反復練習をする。(サクシードを解く)
- 4 応用問題に挑戦する。(サクシード章末問題・青チャート重要例題等に取り組む)

日々の学習に取り組めるように数学科として宿題を出します。また、単元ごとに確認テストを行い、基本事項の定着を図ります。これだけでも継続して続ければかなりの実力がつきます。

○ 長期休業期間の宿題、宿題テスト

夏休みなどの長期休業期間にそれまで学んだ内容の復習を目的として宿題を課します。また、学期の始めに宿題テストを実施します。学んだ内容をしっかり身につけることは、後の学習内容をより深く理解するために必要なものです。毎日計画的に取り組み、実力養成につなげてください。

第3項 教材とその活用法

○ 教科書 高等数学 数学I、数学A (数研出版)

授業で使います。高校で学習する最も基礎的なものですから、内容はすべてマスターしてください。

○ 問題集 新課程 教科書傍用 サクシード 数学I+A (数研出版)

教科書の内容を確実に身につけ、応用問題にも対応できる教材です。必要に応じて授業でも解説します。また、定期考査ごとに演習ノートを提出し、取り組みを評価します。

○ 参考書 新課程 チャート式 基礎からの 数学I+A (数研出版)

教科書の内容をさらに深く理解するとともに、さらに発展した内容を学習するための教材です。授業で取り扱うことは少ないですが、発展問題を理解するために是非家庭で学習してください。すべての内容が身につけられれば、国公立・難関私立大学入試問題にも対応できます。

第4項 評価の観点

○ 関心・意欲・態度

数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしているかどうか。

○ 数学的な見方、考え方

事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けているか。

○ 数学的な技能

事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか。

○ 知識・理解

数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し知識を身に付けているか。